



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL https://www.yutakagiken.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大野 仁 TEL 053-433-4111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	133,824	16.5	8,501	△5.1	8,867	6.7	6,063	4.8	4,517	△0.8	7,686	23.0
29年3月期第3四半期	114,887	△4.9	8,957	△9.9	8,314	△9.9	5,786	△8.5	4,553	△8.1	6,248	68.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	304.80	—
29年3月期第3四半期	307.25	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	158,687	90,126	78,431	49.4	5,292.76
29年3月期	154,906	84,828	73,850	47.7	4,983.66

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	31.00	—		
30年3月期（予想）				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,000	3.1	11,700	△3.3	12,000	5.9	7,800	8.4	6,000	10.0	404.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	14,820,000株	29年3月期	14,820,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,520株	29年3月期	1,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	14,818,494株	29年3月期3Q	14,818,595株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、国内では生産・輸出は引き続き幅広い分野にて増加基調を維持し、製造業における業況判断指数は一年以上連続で改善、個人消費も上昇を続けるなど、緩やかな持ち直し基調を継続しています。海外では、米国で企業収益、個人消費共に回復基調を続ける一方、自動車販売は前年同期比マイナスが継続、中国では生産、設備投資の鈍化や小型車減税が終了するなど先行きは不透明な状態となっています。

この様な環境の中、当社グループは、国内及び海外市場における顧客からの受注増加や、合理化効果、円安効果等のプラス要素はあったものの、北米における製品仕様や構成変化による収益悪化に加え、生産効率改善のための経費発生等があり、当第3四半期連結累計期間の売上収益は1,338億2千4百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益85億1百万円（前年同期比5.1%減）となりました。一方、税引前四半期利益以降は、為替相場が円安基調で推移したことで金融収支の為替差損が差益に転じ、税引前四半期利益88億6千7百万円（前年同期比6.7%増）となったものの、法人所得税費用の増加により、四半期利益60億6千3百万円（前年同期比4.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益45億1千7百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

軽自動車用製品やモーター関連製品の新規受注による増収効果や合理化効果に加え円安効果もあり、売上収益323億9千3百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益5億2千1百万円（前年同期は営業損失1億4千8百万円）となりました。

(北米)

売上収益は円安効果により増収となったものの、製品仕様や構成変化による収益悪化要素に加え、生産効率改善のための経費発生等があり、売上収益422億2千1百万円（前年同期比10.9%増）、営業損失16億5千5百万円（前年同期は営業利益16億8千3百万円）となりました。

(アジア)

インドネシアにおいて自動車部品二輪の顧客からの受注減による減収があったものの、タイにおいて自動車部品四輪の顧客からの受注増による増収効果により、売上収益234億1千9百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益26億4千1百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(中国)

経費負担増の影響はあったものの、顧客からの受注増による増収効果により、売上収益484億8千2百万円（前年同期比28.3%増）、営業利益68億8千9百万円（前年同期比19.0%増）となりました。

(その他)

顧客からの受注増加や固定費削減効果に加え為替負担の軽減もあり、売上収益は66億7千9百万円（前年同期比25.1%増）、営業利益1億6千8百万円（前年同期は営業損失4億8千5百万円）となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、現金及び現金同等物や棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ37億8千2百万円増加し、1,586億8千7百万円となりました。

負債につきましては、借入金や繰延税金負債が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ15億1千6百万円減少し、685億6千1百万円となりました。

資本につきましては、利益剰余金やその他の資本の構成要素が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ52億9千7百万円増加し、901億2千6百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は285億7千3百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は127億3千2百万円（前年同期比23.6%増）となりました。これは主に法人所得税等の支払額及び棚卸資産の増加による支出があったものの、税引前四半期利益や減価償却費及び償却費、営業債権及びその他の債権の減少による収入が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は54億8千万円（前年同期比28.9%減）となりました。これは主に新機種及び合理化投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は52億3千1百万円（前年同期比237.0%増）となりました。これは主に借入金返済による支出や配当金の支出額、非支配持分からの取得による支出等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月27日の「平成29年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、第4四半期連結会計期間の為替想定レートは、1米ドル110円としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2017年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	28,136	30,790
営業債権及びその他の債権	33,890	33,344
棚卸資産	23,075	24,694
その他の流動資産	2,033	2,134
(小計)	87,134	90,962
売却目的で保有する資産	327	—
流動資産合計	87,461	90,962
非流動資産		
有形固定資産	61,846	61,926
無形資産	1,164	1,052
退職給付に係る資産	729	698
その他の非流動資産	927	801
繰延税金資産	2,777	3,249
非流動資産合計	67,444	67,725
資産合計	154,906	158,687
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,171	38,930
借入金	18,136	17,222
未払法人所得税等	1,847	2,070
その他の流動負債	2,659	2,422
流動負債合計	60,813	60,644
非流動負債		
借入金	4,058	3,835
退職給付に係る負債	2,649	2,654
繰延税金負債	1,711	596
その他の非流動負債	846	833
非流動負債合計	9,264	7,917
負債合計	70,077	68,561
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	486	8
利益剰余金	70,891	74,504
自己株式	△2	△2
その他の資本の構成要素	721	2,167
親会社の所有者に帰属する持分合計	73,850	78,431
非支配持分	10,978	11,695
資本合計	84,828	90,126
負債及び資本合計	154,906	158,687

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上収益	114,887	133,824
売上原価	94,244	112,630
売上総利益	20,643	21,195
販売費及び一般管理費	12,025	12,818
その他の収益	391	322
その他の費用	51	197
営業利益	8,957	8,501
金融収益	822	556
金融費用	1,465	190
税引前四半期利益	8,314	8,867
法人所得税費用	2,528	2,804
四半期利益	5,786	6,063
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	6	△1
純損益に振替えられることのない項目合計	6	△1
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	456	1,624
純損益に振替えられることのある項目合計	456	1,624
その他の包括利益(税引後)合計	463	1,622
四半期包括利益	6,248	7,686
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,553	4,517
非支配持分	1,233	1,547
四半期利益	5,786	6,063
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,038	5,898
非支配持分	1,210	1,788
四半期包括利益	6,248	7,686
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	307.25	304.80

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	
2016年4月1日残高	1,754	566	65,380	△2	12	
四半期利益	—	—	4,553	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	3	
四半期包括利益	—	—	4,553	—	3	
自己株式の取得及び売却	—	—	—	△0	—	
配当金	—	—	△859	—	—	
子会社に対する所有持分の変動額	—	△80	—	—	—	
所有者との取引等合計	—	△80	△859	△0	—	
2016年12月31日残高	1,754	486	69,074	△2	15	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2016年4月1日残高	1,979	1,991	69,689	10,527	80,217
四半期利益	—	—	4,553	1,233	5,786
その他の包括利益	482	485	485	△22	463
四半期包括利益	482	485	5,038	1,210	6,248
自己株式の取得及び売却	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△859	△130	△990
子会社に対する所有持分の変動額	△1	△1	△81	105	24
所有者との取引等合計	△1	△1	△940	△25	△965
2016年12月31日残高	2,459	2,475	73,787	11,713	85,499

(単位：百万円)

区分	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	
2017年4月1日残高	1,754	486	70,891	△2	15	
四半期利益	—	—	4,517	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	△1	
四半期包括利益	—	—	4,517	—	△1	
自己株式の取得及び売却	—	—	—	△0	—	
配当金	—	—	△904	—	—	
子会社に対する所有持分の変動額	—	△478	—	—	—	
所有者との取引等合計	—	△478	△904	△0	—	
2017年12月31日残高	1,754	8	74,504	△2	14	

区分	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2017年4月1日残高	707	721	73,850	10,978	84,828
四半期利益	—	—	4,517	1,547	6,063
その他の包括利益	1,382	1,381	1,381	241	1,622
四半期包括利益	1,382	1,381	5,898	1,788	7,686
自己株式の取得及び売却	—	—	△0	—	△0
配当金	—	—	△904	△369	△1,273
子会社に対する所有持分の変動額	64	64	△413	△702	△1,115
所有者との取引等合計	64	64	△1,317	△1,071	△2,388
2017年12月31日残高	2,153	2,167	78,431	11,695	90,126

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	8,314	8,867
減価償却費及び償却費	6,102	6,822
金融収益及び金融費用(△は益)	△29	△73
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△619	1,812
棚卸資産の増減額(△は増加)	△767	△1,147
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,398	995
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	159	125
その他	560	△1,307
小計	12,322	16,093
利息の受取額	225	264
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△178	△192
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,069	△3,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,302	12,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△73	73
有形固定資産の取得による支出	△7,833	△5,821
有形固定資産の売却による収入	404	362
無形資産の取得による支出	△265	△93
投資有価証券の償還による収入	20	—
貸付による支出	△1	△4
貸付金の回収による収入	35	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,712	△5,480
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,819	128
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△225	△17
長期借入れによる収入	864	784
長期借入金の返済による支出	△2,304	△2,341
非支配持分からの払込による収入	24	—
非支配持分からの取得による支出	—	△1,115
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支出額	△859	△902
非支配持分への配当金の支出額	△872	△1,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,552	△5,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43	703
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	994	2,725
現金及び現金同等物の期首残高	21,342	25,849
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,335	28,573

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、各々の現地法人においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪 (排気系部品、駆動系部品)
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪 (排気系部品)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び損益

当社グループの前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	16,491	37,391	19,231	36,460	5,315	114,887	—	114,887
セグメント間の内部売上収益	12,958	668	1,926	1,321	22	16,894	△16,894	—
計	29,448	38,059	21,156	37,780	5,337	131,781	△16,894	114,887
営業利益又は損失 (△)	△148	1,683	2,459	5,790	△485	9,299	△341	8,957
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	822
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	1,465
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	8,314

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	17,347	41,444	21,301	47,070	6,662	133,824	—	133,824
セグメント間の内部売上収益	15,046	777	2,117	1,412	17	19,370	△19,370	—
計	32,393	42,221	23,419	48,482	6,679	153,195	△19,370	133,824
営業利益又は損失 (△)	521	△1,655	2,641	6,889	168	8,564	△63	8,501
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	556
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	190
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	8,867

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。